

自閉症総合援助センター 萌葱の郷

# ASSIST



～芽吹く未来へ～

## 運営の基本理念

### 【目 的】

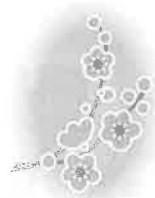
萌葱の郷は、自閉症総合援助センターとして、生活支援・発達支援・早期療育・就労支援・余暇支援・普及啓発・専門家養成等のサービスメニューを総合的に提供し、自閉症を中心とする発達障がいのある人たちの豊かな育ちと暮らしを実現します。

### 【基本方針】

- (1) 私たちは、いかなる差別、虐待も許さず、人権を尊重し敬意をもって支援します。
- (2) 私たちは、利用者の個性や自己決定を尊重し、自律的に生きられるように支援します。
- (3) 私たちは、利用者が地域社会の一員として、普通の暮らしがおくれるように支援します。
- (4) 私たちは、専門職としての使命と役割を自覚し、人間性と専門性の向上に努めます。

2012.4.1 発行

VOL.1



# 年頭所感

## つらつら思うこと

理事長 五十嵐康郎



皆様方には当法人事業運営に対し、長年に亘るご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。お陰さまで、去る10月28日に関係者多数ご臨席の下、社会福祉法人萌葱の郷「めぶき園」創立20周年記念式典を挙行することができました。

措置制度から、支援費制度、障害者自立支援法、そして障害者総合支援法へとこの10年足らずの間に目まぐるしく障害者福祉制度改正が行われてきました。行政措置として、社会的弱者の救済、保護を主とする措置制度から、幅広く国民全体の福祉ニーズに応えるものとして、利用者と事業者が対等の立場で契約する支援費制度に移行しましたが、財政的に破綻をきたしたことから、僅か3年で障害者自立支援法が施行されました。自立支援法は成立から施行までの期間が短く準備不足であったことから、障害程度区分判定や応益負担化による利用者負担の増大、日額払いや職員配置基準の切り下げによる運営費の大幅な減額が大きな社会問題になりました。

障害程度区分判定と日額払い等多くの課題は残されていますが、その後の緊急対策や一部改正により、国、地方ともに大幅な財政赤字にも関わらず、障害者福祉予算はほぼ倍増の伸びを示しました。日本の歴史上これ程までに障害者福祉に国民の意識が向けられたことはなかったと思います。

障害者権利条約批准に向けて、障害者基本法の改正、障害者虐待防止法の成立、さらには大分県はじめ各地で障害者差別禁止条例制定に向けての取り組みが始まっています。

障害者差別は人類発祥以来最も歴史の古い差別であり、現代においても障害者に対する厳然たる差別が存在しています。しかも自分は非障害者だと考えている人の多くが差別していることにすら気付い

ていない深刻さがあります。障害のある人が発言することによって、私たちは少しずつこの事に気付き始めています。

人は誰もが、老いることによって、病気になったり、障害を持つ可能性があります。毎年多くの人が事故や病気で「障害者」になります。しかし自分がそうなるまではそのことに気付くことはありません。私たちは「死」と同じようにもっとも身近にありながら「障害」を意識から遠ざけてしまうのです。多くの人は、働けなくなったり、病気になったり、障害を持った時に安心して暮らせる社会を望んでいると思います。自分は経済的に豊かで元気だから、障害もないから負担をするのは嫌だというのは、全く想像力に欠けた考え方だと思います。例えばいつどんな災害に襲われるかわかりませんし、戦争や深刻な経済破綻によって、すべてを失う可能性もあります。

弱肉強食、自分さえ良ければいいという考え方が蔓延っています。東日本大震災の復興増税もできる限り先延ばししようとし、消費税増税が必要なことは誰の目にも明らかだと思います。しかし、増税を口にする選挙に負けるため、真剣に国民に必要性を訴える政治家がいません。日本人の品格はどこに行ってしまったのでしょうか。このままでは日本は滅びてしまいます。子や孫に美しい日本を渡すことを私たち一人ひとりが真剣に考えなければなりません。

話がそれてしまいましたが、職員の育成による専門性の向上はもとより、利用者の居室の個室化、障害の重い人のケアホームの開設、強度行動障害棟の開設によって、利用者の皆さんが安心して豊かに暮らせる社会の実現を目指したいと考えています。

# おめでとう！20周年！

平成23年10月28日(金)に社会福祉法人萌葱の郷めぶき園20周年記念式典が、ホテル豊洋(三重町)にて120名の出席のもと盛大に開催いたしました。



自閉症の方々の豊かな暮らしを目指して20年。今では、子どもから大人までのライフステージにわたっての支援体制も整備されてきました。

記念式典では、多くの方の祝辞を賜り、長年にわたって温かくご支援いただいた感謝の念を抱きました。続いての祝賀会では、めぶき園利用者のハンドベル演奏(めぶき園利用者)や武術太極拳(犬飼秋好教室)、日本舞踊(松島流信乃舞会)で場を盛り上げてくれました。今回20年を迎えての行事でしたが、更なる発展をして次の区切りの行事を迎えたいと思います。



人は誰しも、誰かに認めてもらいたい、役に立ちたい、働きたいなどといった前向きな生産性というものを持って生まれてきます。それは自閉症も同じであり、認められ、作業(仕事)をして、何か楽しいものを見つければ、彼らの人生は豊かなものになると信じています。

めぶき園では、障害者支援施設として、作業活動を基本としながら、それと同時に、余暇の活動を大切に、利用者が生きがいや喜びを持つ

## めぶき園の自閉症療育



めぶき園 支援課長  
野上悦生

てめぶき園の生活が楽しく過ごせるよう、1日の流れは時間にゆとりを持たせ、利用者が見通しを持ちやすく「無理」にはなく、本人のペースを大切にしながら、その中で折り合い(集団生活の中の個人)をつけて過ごせるよう配慮し、作業以外にもさまざまな活動に取り組みんでいます。

療育の柱は、利用者との間に安心感に基づく信頼関係を築くことです。なぜなら、自閉症者は、オウム返し、感覚過敏、興味関心のバラツキ、さまざまな行動特徴などがあり、人とコミュニケーションを取りづらく、周囲からも理解されないまま本人の思いなどに関係なく、否定の波の中にさらされ続けて生きてきたことにより、適切なコミュニケーションで自分の気持ちを表現することが出来ずに激しいパニックや行動障害を引き起こすことが考えられるからです。

冰山は、目に見える部分よりも、見えない部分(海中)の方が大きくなっている。自閉症者も同じであり、本心は見えない部分にあり、根底であると思います。その根底である、

内なる部分を理解しようと努め、その気持ちに共感することが大切であり、その気づきの感性を持つようには、支援員が意識をする。そのためには、常日頃から利用者の様子(顔の表情・しぐさ・体の緊張・体調)を注意深く観察しておくことが重要です。

しかし、めぶき園は集団生活の場でもあるので、利用者の気持ちに共感し、全てを受け入れていくと收拾がつかなくなり、他人に迷惑になることやしてはいけないことなどは本人にきちんと話をして伝えていくことも必要です。肯定的に利用者に関わりながら、個と集団の折り合い、そのメリハリが大切だと考えています。

めぶき園は、開園当初より、利用者との間に安心感に基づく信頼関係を築くことを療育の基本としてきました。彼らの内なる気持ちに共感し、肯定的に利用者に関わる姿勢を支援者が持つこと、本人たちの心に寄り添い、安心できる存在となり、安心できる場所を提供することこそが療育(人間関係)の原点であると考えています。

# 就労支援施設 どんこの里いぬかい

## どんこの里いぬかい 誕生話

社会福祉法人萌葱の郷は、障がいがある人もない人も共に暮らす共生社会の実現を目指しており、障がいのある人の地域生活や就労生活をすすめるために、平成二十二年五月に「どんこの里いぬかい」を開設しました。

大分県から熊本県、そして宮崎県へと続く国道十号線沿いの犬飼町久原の広い空地に、長い年月の間、公衆トイレだけがポツンと残されていました。

この付近には公衆トイレがないため、地域の方だけではなく、遠距離トラックや家族連れといった一般の方々も二十四時間、ほとんど年中無休で利用されていました。



しかし、利用者が多いだけに、豊後大野市の予算だけで維持管理していくことが難しくなり、平成二十二年度中に解体されることが決定されていました。

この公衆トイレが突然無くなれば、これまでこの場所で休憩されていた地域の方や、国道を歩き来る方々が困ることになってしまいます。

そこで、障がい者就労支援の新しい形を模索していた私たちは、この公衆トイレを豊後大野市から引き継ぎ、維持管理していくことにしました。

そして、地域の皆様や国道を利用される方々が憩い、交流を深める場になることを願って、同敷地内に「お食事処」と「直販所」を設置しました。

障がいがある方が暮らしていくためには、地域の方々の理解や支援が欠かせません。私たちは「どんこの里いぬかい」を通して、地域貢献や社会貢献を果たしている障がい者の姿を皆さんに是非知っていただきたいと願っております。

国道十号線を通られる際には「どんこの里いぬかい」に是非お立ち寄りください。

お待ちしております。

## お食事処

心を込めておもてなし。おススメは日替わりECOランチ！



人気のECOランチ

- 日替わりECOランチ 500円
- かつ丼 500円
- ソースかつ丼 500円
- 味噌かつ丼 500円
- 海老とじ丼 500円
- 天ぷらうどん 500円  
(いなり付きは 580円)
- 月見うどん 400円  
(いなり付きは 480円)
- きつねうどん 400円  
(いなり付きは 480円)
- きのことカレー 500円
- ドリンクはお食事とセットで 100円
  - ・りんご・オレンジ・コーラ
  - ・ウーロン茶
  - ・紅茶 (ホット)
  - ・コーヒー (ホット・アイス)
- デザート
  - ・なめらかプリン 200円

## 新鮮野菜や地元の名産品を揃えております！

直販所では、地元で取れた旬の新鮮野菜や花の苗、犬飼の「鮎うるか」、地酒などの地域の名産品、めぶき園農園芸課の利用者が農業を使わずに育てた野菜、手工芸課の「機織り」、陶芸課の陶器などを販売しています。

また、県内の福祉施設で作られたクッキー、漬物、手作り小物なども取り扱っています。生産者の方々やお客様の温かい御協力のおかげで、商品も増え、地域にも定着しつつあります。めぶき園手工芸課にて「機織り」に取り組み、テーブルセンターや小物の作成などもしています。

## 直販所



## 共に働く

現在十名の利用者が通所しており、一般就労に向けて業務に励んでいます。

利用者の特性や能力、希望する就労の種類等、利用者の状況に応じて作業を組んでいます。

A班はレストラン内で接客や厨房補助、B班は直販所内で商品の袋詰めやレジ補助、C班は敷地内の環境整備、公衆トイレの清掃、豊後大野市の委託清掃、D班は農作業業務、E班は弁当の盛り付け等を行ないます。

他にもめがき園手工芸課にて「機織り」の作業も行っています。



## 日本財団助成事業完了のお知らせ

このたび日本財団から、平成二十三年度助成金の交付を受け、左記の事業を完了いたしました。ここに事業完了の報告を申し上げますとともに、日本財団をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで御礼申し上げます。

### 事業内容

- ・就労種目：製麺作業
- ・設備内容：製麺機（一台）、熟成庫（一台）
- ・施設名称：就労継続支援B型事業所 どんこの里いぬかい（定員二十名）

どんこの里いぬかいでは、平成二十四年度から新たな就労種目として、製麺作業を開始します。製麺機の助成事業完了に伴い、製麺を中心とした作業を取り入れ、今後はレストランでの提供や、物販所での販売などお店の特色にしていければと考えています。

現在、利用者・スタッフ一丸となり、コシのある製麺を生かした新メニューの考案や試食など色々と試行錯誤している段階です。近くにお越しの際は、是非ご賞味下さい。



## 弁当・丼物・オードブル配達

日替わり弁当と丼物を販売・配達致します。直販所の野菜を使って、心を込めて作っています。

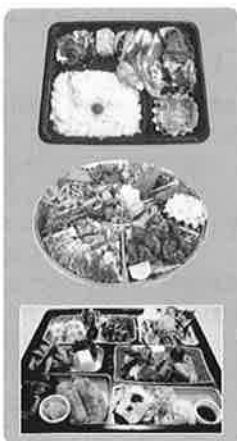
平日の昼に、豊後大野市三重町、臼杵市野津町、大分市戸次に配達しております。（大量注文の場合はこの限りではありません。）

配達ご希望の場合は当日の10時半（配達車の出発時間まで）をお願い致します。

**ご注文は 097-578-0077 まで**

オードブルは五千円から承っております。（要予約・五日前まで）お祝い事やパーティーにはこちらをお勧めします。

なお、ご予算に合わせたお弁当もお作りします。（要予約・五日前まで）会議や運動会等、イベントの際には是非ご利用ください。



# PICK UP

## 発達障がい者支援専門員

# スーパーバイザー

CHECK!!

この研修・スーパーバイザー派遣事業が、国からの注目を受け、今後は全国規模で展開する方向で動いています。大分県からの全国発信となり、今後の動向に注目!!

### 大分県発達障がい者支援専門員養成研修とは？

医療・保健・福祉・教育・労働の各分野において、発達障がい児(者)のライフステージを見通した相談や支援を行う専門家(スーパーバイザー)を養成し、大分県内全域における発達障がいの理解と、各地域における支援ネットワークの推進を目指します。

この研修は、平成18年度から大分県の関係諸機関によって構成される「大分県発達障がい者支援センター連絡協議会」を主体にし、大分県発達障がい者支援センターE・C・O・A・Lが事務局として各関係機関が合同ですすめ実施しています。



研修会



修了式

### 研修プログラム

#### 初級研修

6講義・3機関現場視察研修

#### 中級研修

4講義・5日間の実務研修

#### 上級研修

事例検討会、研修会に規定回数以上の参加



SVバッジ

### 大分県発達障がい者支援専門員

資格交付審査会

発達障がいの支援にはライフステージを見通した視点が必要とされるのですが、実際には成人との関わりを経験したことのない方や、逆に幼児期や学童期の子どもの発達支援を実践したことのない方もいるため、研修プログラムには医療・教育・福祉・労働・行政・当事者団体のエキスパートによる講義の他に、実地研修も取り入れて行っています。初級・中級・上級と3年間かけてゼネラリストとしての視野を広げていくプログラムとなっています。

研修の全過程を修了し、連絡協議会の審査を通過した研修生の方々に「大分県発達障がい者支援専門員」として認定し、平成21年度からは大分県の単独事業として、新たに大分県内の各地域や各領域において発達障がいの支援に関するスーパーバイザーとして活躍していただいています。

### 役割について

このスーパーバイザーの役割とは、発達障がいの特性について正しく理解をした上で県の認定のもとであらゆる関係機関とのパイプを駆使し、市町村の自立支援協議会や関係機関などの個別支援会議等にて、発達障がいの支援に関して助言を行っていくことです。また、発達障がい児者が専門的な支援を身近な地域で受けられる体制の整備の推進。将来的には、各市町村のあらゆる関係機関に発達障がいに関する専門家が配置され、より生活に身近な場面で専門的な配慮や支援がなされていく社会の実現を目指しています。

研修を終え、県からの認定を受けたスーパーバイザーから構成される「大分県発達障がい者支援専門員の会」を結成し、現在79名のスーパーバイザーが、ネットワーク作りや専門性のスキルアップなどに努め動いています。

### スーパーバイザー派遣事業

派遣事業は大分県が発達障がい児早期支援体制整備事業として行っています。

適切な相談・支援方法を理解し、支援に携わった実績を持つスーパーバイザーが、発達障がい児支援のための個別支援会議等を訪問し、幅広い視点から助言やアドバイスをを行います。

⇒(掲載チラシを参照)



スーパーバイザー・大分県発達障がい者支援専門員の会  
会長 相本 雄一郎さん  
(大分県障がい者体育協会)

### Message Box

～研修を受けて～

受講者(上級研修)  
佐伯市適応指導教室グリーンプラザ  
谷口由美さん

大分県発達障がい者支援専門員の会は、大分県発達障がい者支援専門員養成研修を終了したスーパーバイザー(以下、SV)の有志で2年半前に設立された任意の団体です。現在は、研修を終了した1期生～3期生がその会員となっています。会結成のきっかけは研修終了後のSV自身のスキルアップと、SV同士のネットワーク作りが目的でした。会結成から2回の研修会とSVを県内6圏域のグループに分けての各圏域ごとの連絡会を実施することで、当初の目的は達成できているのではないかと感じています。会ができたことによって、支援センターや県、自閉症協会等の各関係機関との連携も取りやすくなり、現在の事業であるSV派遣だけでは得られない多くのメリットも強く感じています。今後は会として、新人SVの現場を踏まえた養成や、地域の相談支援事業所や自立支援協議会等との連携を深めながら、大分県内の各地域の中で発達障がいのある方の身近な拠り所となる専門家としてのスキルを身につけていけるよう努めていきたいと考えています。また、高い専門性と様々な支援者をつなぐ「継ぎ目」になれることを目指してまいりますので、今後ともよろしく願います。

私の勤務しています佐伯市適応指導教室とは、何らかの原因で学校に行きづらくなっている子どもたちが、様々な活動を通して人との関わりを学び、学校への復帰を支援しています。児童生徒の中には、発達障がいの特性である対人関係の難しさから、周りとのコミュニケーションを上手く計れず、外出もできなくなってしまう子どももいます。そのような子ども達とラポール形成する上で、どう関わっていくべきなのかと発達障がいへの理解の必要性を強く考えます。大分県発達障がい者支援専門員養成研修に参加し、事例検討会では様々な支援の方向性を知ることができ、大分県自閉症協会の親の会での定例会では、子どもだけではなく、保護者の想いなども知ることができました。この研修を通して、私は職場での子ども達個々に応じた支援のあり方を、これまで以上に考えることができるようになったと感じています。

# conversation with センター長



話し手：五十嵐 猛 (=セ)  
聞き手：A,B

A: センター長と自閉症の出会いはいつですか?  
セ: 生まれたときからずっとかな、父親の仕事を見てきているから、いつからとは憶えていない感じ。  
A: 小さい頃から福祉の道に進もうと思っていたのですか?  
セ: いや、思っていなかった。これには色々と言があるんだよ。  
A: 1番最初になりたかった仕事ってなんですか?  
セ: 商社とか、売手人とか。あの: 儲かる仕事があったかった(笑): 海外で一儲けしたいかと思っただけ!  
A: 福祉の仕事の辞めたいと思っただけですか?  
セ: というか、初めは福祉の仕事にはつきたくなかったくらいだった。何でかって言うと、小学生の時は施設の社宅みたいな所に住んでたから、園生と一緒に遊ぶことも多かったし、兄弟みたいに育てられたことで、地域の子どもから一緒に馬鹿にされたり、いじめられたりすることもあった。  
A: え、本当ですか。  
セ: 一昔前だからね、まだまだいろいろないじめや差別があったんだよ。幼い時にはあんまりよく分か

んなかったんだけど、段々大きくなるにつれて、自分も一緒に差別を受けるなら、もう一緒にになりたくないと思いはじめた。だから、もう障害の方には目を向けないで、割り切って生きようと思ったんだよ。

B: うわあ、それってリアルですね。

セ: だから、高校とか大学とかっていうのは、もう、障害の分野から離れて生きることが出来て、すごく安心できたんだよ。楽になった感じがあった。けれども、いろんな所でその障害者と健常者との間の壁をすごくいっぱい感じることもあった。俺も自分の生い立ちから説明するのも変だし、ややこしいから、関らない方が無難だと思って考えていたんだよ。だけど、大学とか行っても、周りの仲間とかが言うんだよ、障害者の悪口を。そんな時、俺はすごく腹が立ってきて、気持ちが整理できなくなるんだ。そのギャップっていうか、やっぱり割り切れないことに気が付いたんだよ。障害に関する問題について: 自分が向き合えないとこのまま違和感を抱えたまま生きなきゃいけないのかな? と思って、これまでとは逆に、向き合って生きようと考え直した。その、障害とかがって壁が社会からなくなったら、俺も生きやすくなるし、気持ちも楽になれるかなと思って。だから、向き合いつつ、もつとお互い支え合って生きられるような社会になるといいなって考えながら、この仕事を続けている。

B: 恐れ入りました。僕、差別していた方です、正直恥ずかしいです。

セ: いやいや、俺だって、関わりたくないかと思っただけだから: 。

B: うーん。

セ: だけど、今思うとね、やっぱり、人というのは、自分のために生きるよりも、人のために生きてい

ることの方が幸せを感じられると思うな。

A: センター長は悩んだりした時、誰に相談するんですか?

セ: 俺は吸収率が良いから、講演とか本とかから絶対なんかヒントを見つけている。俺、結構哲学とかの本も読んでるからね。Eブックの本とかからは影響受けたな。あと、映画もね。

A: どんな映画を見るんですか?

セ: 最近「海洋天堂」を見た。相当良かった!

A: 感動して4回くらい涙した!

A: えっ? 何ですか? 聞いたことない: (汗)

セ: 自閉症が主人公の映画で、お父さんが一人自閉症の子どもを育てているんだけど、自分にガンがあることをわかって、自分が亡くなった後でも、子どもが自立しながら安心して暮らせるように、道標をするんだ。めげぎ園のお父さんたちの気持ちも伝わってくる、とてもいい映画だった。

A: えー、それって何処に行けば見られるんですか?

セ: シネマでやってたけど、すぐ終わっちゃった。

でも、またやるだろうし、DVDも出ると思うよ。

机の中を探すと「海洋天堂」これだよ、これ。

「チラシを提示」

A: 日本の映画

じゃないん

ですね、

これ(ポスト

ター) もら

っていいで

すか?

セ: どうぞ、どうぞ。あつ、もう次の会議に行かねえと。

A: はい、とても勉強になりました。

セ: お疲れ様。頑張ってたね。

A: ありがとございました!!





障がい者支援施設 **めぶき園** (法人本部)

豊後大野市犬飼町下津尾 4355-10  
TEL 097-578-0818  
FAX 097-578-0819  
mebukien@moeginosato.net



ホームヘルプサービスセンター **らすかる**

豊後大野市犬飼町下津尾 4355-10  
TEL 097-578-1888  
FAX 097-578-0819  
rasukaru@moeginosato.net



ケアホーム **かわしま**

豊後大野市犬飼町下津尾 3709-8  
TEL 097-578-0885



## 萌葱の郷 ロードマップ



子ども発達支援センター **なごみ園**

豊後大野市犬飼町大寒 2149 番地 1  
TEL 097-586-8070  
FAX 097-586-8071  
nagomi@moeginosato.net



就労支援施設 **どんこの里いぬかい**

豊後大野市犬飼町久原 1863 番地 8  
TEL 097-578-0077  
FAX 097-578-1226  
donko@moeginosato.net



大分県発達障がい者支援センター **ECOAL**

豊後大野市犬飼町久原 1863 番地 8  
TEL 097-586-8080  
FAX 097-586-8181  
ecoal@moeginosato.net

## ■ お知らせ ■

平成 24 年度より、子どもデイサービスセンターなごみ園が、子ども発達支援センターなごみ園に変わります。

## 編集後記

今年度から萌葱の郷のパフォーマン  
スを広報誌「Assist」に掲載お伝えし  
ます。

担当する6名の広報委員は皆、ど素  
人グループ。そんな委員でこれからの萌  
葱ハフォーマンスをお伝えしていけれ  
ばと思っていますので、今後ともよろ  
しくお願い致します。(広報委員長)